

桜を愛で平和を願う ~TEAM 森づくり 2020~ 最終回 報告

理事長 山本恵由美



1月号で紹介した「ひろしま森づくり事業:TEAM 森づくり」は普段、森林とは関わりの無い県民に対して、森林整備の体験を通して森づくり意識を高めてもらおうというもの。今年は森林公園を舞台に、広島の名所の開発を目的として荒れた森林の除伐を年内に実施し、2月14日にコロナで中断した最終回を人数と時間を制限して、桜の植樹活動を再開しました。

選んだ品種は花色が濃い2種。麓あたりには「平和を祈念」して作られた『陽光』3.5mと頂上の矢倉門付近には『大山桜』3mの大型各2本ずつ計4本。

まず、植樹に支障のコナラの大木(ナラ枯れ)を伐採するため、見勢井、本廣、富田、秋武(敬称略)の講師陣によりチルホール等の準備から始まり、伐採の見学をするところから。そして早速、植樹活動へ。苗が今年開花を見込める大型で重量もあり、参加者は運搬から硬い地面と岩との格闘で、道具を変えながら約1mの大きな穴を掘り進める作業は時間がかかり、上記講師陣の技術と指導力をもって、午前中に2本を植え終るのが精一杯でした。午後、有志協力で植樹は完了。私たちの活動の目的は良い社会にしたいから。それには平和が最重要。未来も続くよう祈りながら桜を見守っていきます。

平和のシンボル 陽光桜

『陽光桜』は天城吉野(アマギヨシノ)と寒緋桜(カンヒザクラ)

との交配によって作られた園芸品種です。元教師の高岡正明さんが、非戦の誓いを桜に託し25年もの年月をかけて開発しました。戦地に見送った教え子たちを悼み弔うために、私財を投げ打って、戦死した地域であろうシベリアから東南アジアまで地域を選ばず、どこにでも咲くことができる丈夫な桜を目指し、ようやく創り上げたのが『陽光桜』なのです。

